

災害ボランティア講演会

「災害ボランティアにチャレンジ」



鹿児島大学ボランティア支援センターでは、在学生在が自発的に「社会貢献する・他者のために奉仕する」活動を行い、「自己成長する」ボランティア活動（一般・災害）を支援しています。東日本大震災で起きた地震・津波・放射能被災以外にも、例えば、鹿児島県内では桜島や屋久島町口永良部島で火山災害が発生し住民の避難等があり、災害ボランティア活動の重要性が高まっています。

本講演会では、災害ボランティアとして学生にどのような活動ができるのか、そして、社会からはどのような活動が期待されているのかについて理解し、災害ボランティア活動の契機になることを意図しました。講師は、福島大学災害ボランティア支援センターの指導者の先生、鹿児島大学の災害ボランティアです。また講演後に、大学生の災害ボランティアへの要望を含めた質疑応答を行い、今後のボランティア活動に生かすことにします。

対象者： 災害支援やボランティア活動に関心のある学生・教職員および一般市民・防災関係者

日時： 2016年1月25日（月曜日） 18時00分～19時00分

場所： 共通教育棟1号館 122号教室

スケジュール

1. 18時00分 開会式
開会の挨拶 （ボランティア支援センター長）
2. 18時05分 福島大学災害ボランティアセンターの活動報告（福島大学評議員 鈴木典夫教授）
3. 18時50分 質疑応答
4. 19時00分 閉会の挨拶 ボランティア交流会へ移行

鹿児島大学ボランティア支援センター

電話：099-285-3147

Email: volunt1@kuas.kagoshima-u.ac.jp